



2023年4月11日

各 位

株式会社 R V H  
代表取締役社長 荻野 善之  
(東証スタンダード・コード6786)  
問合せ先 IR・広報室  
電話 (03-6277-8031)

## 株式会社 BS ENERGY に係る事業進捗開示方針に関するお知らせ

当社は、2022年8月30日付開示資料「簡易株式交換による株式会社 BS ENERGY の完全子会社化及び主要株主である筆頭株主の異動並びに新たな事業の開始に関するお知らせ」にてお知らせいたしました、2022年9月20日を効力発生日とする株式交換により完全子会社化した株式会社 BS ENERGY が営む営農型太陽光発電所の企画、設計、施工、開発、管理事業の進捗状況について、2022年9月2日付開示資料「株式会社 BS ENERGY の事業進捗状況に関するお知らせ」以降、2023年3月まで月次での進捗開示を行ってまいりましたが、今後の事業進捗開示方針について変更いたしますので、下記のとおりお知らせいたします。

### 記

#### 1. 今後の事業進捗開示方針

当社は、2022年9月20日を効力発生日とする簡易株式交換による株式会社 BS ENERGY の完全子会社化以降、同社の営む営農型太陽光発電事業の事業進捗の指標のひとつとして、同社における電力系統容量確保のための電力接続（系統連系）の申請進捗について月次での進捗開示を行ってまいりました。

その後、電力接続申請は順調に進捗し、2023年1月末日時点では当初事業計画における申請予定総量の約72%まで接続回答を受領いたしました。今後、電力接続申請の未申請分については順次申請していく予定であります。

営農型太陽光発電事業の収益化に至るまでの主なプロセスといたしましては、①発電設備が設置可能な土地の調査、②各種法令に基づく規制等の確認、③土地所有名義人の特定、④電力接続（系統連系）申請、⑤電力契約、⑥土地賃貸契約、⑦営農型太陽光発電関連の許認可取得、⑧設備開発、⑨発電所譲渡先との売買契約等になりますが、これまで月次での進捗開示を行っておりました④電力接続（系統連系）申請以降は7件の開発プロジェクトごとに、主要プロセスに係る手続き及びこれに向けた活動を同時並行的に進めていくこととなるため、月次締めによる進捗率等の報告ではなく、各プロジェクトの主要プロセスに係る契約や許認可の取得が成立するなど、重要事項の発生時点で直ちに適時開示を行うことがより適切であると判断し、今後の事業進捗開示方針を月次での開示から重要事項の発生時点での適時開示へと変更いたします。

また、株式会社 BS ENERGY の営農型太陽光発電事業については、上記のとおり、重要事項の発生時点で直ちに適時開示を行うほか、四半期末時点における進捗状況を適時開示（決算短信あるいは四半期決算短信）及び法定開示（有価証券報告書あるいは四半期報告書）にてお知らせする方針であります。

#### 2. 現在の進捗状況及び今後の見通し

当社は、2022年8月30日付開示資料「簡易株式交換による株式会社 BS ENERGY の完全子会社化及び主要株主である筆頭株主の異動並びに新たな事業の開始に関するお知らせ」にて株式会社 BS ENERGY の営農型太陽光発電事業の2023年12月期事業計画を開発件数7件、設備容量10,413kW、売上高1,968,576千円、営業利益152,030千円と公表しております。同社の開発プロジェクトの現在の進捗状況について

は、7件すべてのプロジェクトにおいて、前述の①発電設備が設置可能な土地の調査、②各種法令に基づく規制等の確認、③土地所有名義人の特定、④電力接続（系統連系）申請までが完了し、⑤電力契約に向けた準備および⑥土地賃貸契約、⑦営農型太陽光発電関連の許認可取得、⑧設備開発、⑨発電所譲渡先との売買契約に向けて各関係相手先との協議・交渉を進めております。

なお、当初事業計画においては2023年春頃より発電所の運転及び営農の開始を予定しておりましたが、2023年1月頃、電力会社より、電力会社による電力系統の接続方法が変更される見込みである旨（ファーム型接続からノンファーム型接続への変更。2023年夏頃に変更見込み）、⑤の電力契約に伴う系統連系の完了時期が2023年12月頃となることが見込まれる旨が通知され、7件すべてのプロジェクトの当該工程に遅延が生じておりますが、その他主要プロセスのうち④電力接続（系統連系）申請までが完了しており、以降の各プロセスについても概ね円滑に協議・交渉を進めていることから、2024年3月期内には当初事業計画から大幅な乖離なく着地するものと見込んでおります。

以上